

7月 学校だより

尼崎市立成徳小学校
令和3年6月30日(水)

季節の節目

校長 島多 峰史



日本の伝統文化に関わる行事は、各地において1年を通じて様々なものが継承されていますが、それらの中から1月・3月・5月・7月・9月に行われる5つの行事だけが江戸時代に精選され、季節の節目の行事として「五節句」という名で取り上げられてきました。しかし、明治時代になって五節句を祝日にすることが廃止され、昭和時代になって「端午の節句」にあたる「こどもの日」のみが休日とされ、現在に至っています。

7月7日は、年間5回の節句の中で4番目にある節句です。漢数字の「七」も、朝夕の「夕」も小学校1年生で学習する漢字ですので、それぞれの読み方を全員が知っているはずですが、「七」の読み方は「しち」または「なな」と読み、例外として直後に「日」がついたときだけ「7日」を「なのか」と読むこともあります。いずれにしても、決して「七」を「たな」とは読まず、節句の種類の一つとしては「七夕」を「しちせき」と呼んでいました。もし、皆さんのお子様が、家で次のように質問してきたら、皆さんはどう答えますか。

「どうして、『七夕』は『たなばた』と読むの。」

五節句の起源は中国であり、そこから日本へ伝わってきた風習ですが、節句とは別に「棚がついた織機で布を織る女性」の伝説が日本にありました。古事記にも万葉集にも、布を織る女性のことが紹介されており、その女性が伝説の女性かどうかは諸説あるそうです。しかし、いずれにしても、伝説の女性を「棚機津女」（たなばたつめ）という名前と呼ばれていたため、七夕（しちせき）を「たなばた」と呼ぶようになりました。コンピュータやスマホで検索したり、広辞苑で調べたりすると、もとの漢字「棚機」も必ず出てきます。

今年も育友会の方々が、願いごとを書いた短冊を笹につるしてくださいませ。この風習の由来は、織り姫にちなんで、「裁縫がよくできるように」という内容だったものが、「お稽古事の技能が上達するように」と広がったと言われています。しかし、願いごとを書き、「棚からぼた餅」だけを期待して、努力を重ねることを怠ってはいけません。



さて、今年の7月7日（雨天の場合は9日）は、成徳小学校のすべての児童が、学年の枠を超えた班編制をして活動をする「成徳オリエンテーリング」です。天の川を渡ることはできませんが、チェックポイントの課題をクリアしながら、成徳小学校のグラウンド、森や庭、校舎内等を巡ります。この行事は、昨年度までは2学期に行っていましたが、今年度は1学期にできなかった行事を2学期に実施する可能性がでてきましたので、急遽、計画を立て直して1学期に前倒し実施することになりました。昨年度は、保護者に公開をしていましたが、今年度は教育委員会からの指示により、1学期の保護者の来校ができなくなりましたので、お間違えのないようにお願いします。



〈7月の行事予定〉

月	火	水	木	金
			1 出前授業 (5/6年)	2 出前授業 (3/6年)
5 朝会 委員会 諸費振替	6 町たんけん学習 (2年)	7 オリエンテーリング	8 脊柱側弯症検 診(5年)	9 オリエンテーリング (予備日) 算数チャレンジ検定
12	13 交通安全教室 (1年)	14	15 給食最終日	16
19 自然学校事前体験 (5年)	20 終業式	21	22 海の日	23 スポーツの日
26	27 個人懇談	28 個人懇談	29 個人懇談	30 個人懇談予備日

〈8月の主な行事〉11日(水)～17日(火) 学校閉鎖期間
25日(水) 始業式 集団下校 30日(月) 31日(火) 夏休み作品展
※給食開始 9月1日(水)

〈お知らせ〉

- 学習用コンピュータの持ち帰りは、7月2日(金)です。持ち帰り用ケースのご準備をお願いします。